

自分の長所を見つける

皆さんが職場や学校で自分よりレベルが上の人がいたら、その人と自分のことを比べたり、私もその人のようにできると思って競争したりしたことはありませんでしたか？

きっと誰にでもあったと思います。

私が高校生の時、クラスにマギーという数学が得意な女の子がいました。彼女は数学以外にも様々なことができたので、学校で行われるいろいろなコンテストでいつもトップか、第2位でした。そのたびに私は彼女と自分を比較していました。彼女は試験でほとんどいつも私より良い点数をとるので、何故マギーと私は同じ人間なのに、私はいつも負けてしまうのか と思いました。私は一生懸命頑張って勝とうとすればするほどストレスが溜まって、今日こそ私が勝とうと思っても相変わらず負けてしまいました。その時は大変苦しかったです。さらに彼女より悪い成績をとった時は泣いて自信がなくなったり、やっぱり私は何もできない人間だと思ったりしました。私も精一杯頑張ったにもかかわらず、何故彼女よりいい成績をとれないのかと思いました。また、自分の劣っている点ばかりに気をとられていました。

そのような時、母が私に「そんなこと気にしないで、いつも勝つことがそんなに大切なことではないよ。でも、きのうの自分より今日の自分が成長していることが大切。例えば、五つのりんごを誰かと競争して食べるとする。その時に一つずつりんごを食べていくとりんごの数が減っていくでしょ。でも、五つものりんごを同時に食べようとする、どのりんごを食べたらいいのか分からなくなってしまう。つまり、一つのリんごも食べきれず数が減っていかないよね。そのままでは、目標を達成できないよね。勉強というのはこれと同じこと。だからひとつのことに集中して自分のできる限り一生懸命に頑張っていけばいいんだよ」と言ってくれました。

その日から、私は何かをする時にライバルにどう勝つのかと思う代わりに、どうすれば自分の足りない所を直して成長させることができるのだろうと考えるようになりました。その結果、さらに前より成績が上がり、ずっと目標としていた日本への留学の奨学金も会得し、自信を持つようになってきました。

同じランニングというスポーツでも、長距離走と短距離走は別物です。短距離走の選手が長い距離を走っても短距離で得たような成功に達することはできません。逆の場合、長距離走の選手が短い距離を走っても、長距離で得たような成功に達することはできません。ですから、これからは自分と誰かを比較するのはやめ、自分にしかできないことがあるはずですから、それらを見つけ、目標に向かって成功させることで満たされる気持ちを味わってほしいです。私のできることは何かと考えながら努力することが一番大切なことだと私は皆さんにもわかってもらいたいです。

ご清聴ありがとうございました。